



凡人くらぶ  
清水 宏  
議員

### ▼船津高潮問題の短期計画と長期計画

Q ①短期計画と、②長期計画についての地元の意見はどうか。

A ①今年度、県において招き扉の設置工事を発注しており、白水川の腹づけ部護岸整備も計画されている。市でも護岸から河川へ降りる階段部分の護岸の整備を計画している。②地元説明会を開催し、島原鉄道より西側の土地かさ上げ案、護岸を整備する高潮堤防案、霊南橋付近における高潮水門と排水ポンプ案を説明した。主な意見として、個人負担を伴うかさ上げは難しい、広馬場の東側の遊水地は埋め立てたほうがよい、霊南橋付近の水門案は効果的である等の意見が出された。

### ▼認知症への対応

Q ①島原広域圏組合での認知症高齢者数  
Q 高潮協議会を二カ月に一回でできないか。  
A 開催回数をふやしていきたい。

と、②厚生労働省推計基準による認知症高齢者推計人数はどうか。

A ①千八百五十人、②厚生労働省では六十五歳以上の高齢者の約十五%が認知症と推計されており、それに当てはめると二千三百十人と推計される。

Q ①認知症に効く薬はあるのか。また、認知症への対応はどうすればよいのか。

A 認知症には様々なタイプがある。アルツハイマー型には幾つかの薬があるが、効果的な薬がないのが現状である。また、早期診断により、治療効果が期待できるものもあり、認知症のタイプによる適切な対応ができるよう、家族を初め多くの方が認知症への理解を深めることが大事である。具体的な相談窓口として地域包括支援センター（電話六五五一〇）がある。

Q ①オレンジプランの概要と、②それに対する本市の対応はどうか。

A ①病院施設中心の認知症ケア施策から、住み慣れた地域での在宅中心の認知症ケア施策へ移行することを目指している。②広域圏組合で平成二十七年度からの次期第六次介護保険事業計画に盛り込むべく、プランに沿った取り組みを検討している。

### 【その他の質問項目】

◇時事問題



実践クラブ  
上田 義定  
議員

### ▼障がい者就労支援について

Q 障がい者就労支援についての考えは。

A 地域で自立した生活が送れるよう、関係機関と連携し、企業の協力もいただきながら、本人の希望に沿った就労支援に努めていきたい。

Q 障害者優先調達推進法が施行されたが、

①物品の調達方針、努力目標と、②目標達成のための具体的な手法をどのように考えているのか。

A ①調達物品、目標金額の集約を行い、速やかに調達方針を作成し、公表したいと考えている。②障がい者施設等から提供可能な物品や役務の情報収集に努め、全部署に情報を提供することが重要だと考える。

### ▼小・中学校のパソコンソフト導入について

Q 小・中学校のパソコンソフト導入の経緯はどうなっているのか。

A 教育用パソコンで使用する授業支援ソフトについては、二十二年度までがスカイ

メニュー、二十三年度からは機器更新に合わせてウインバードを導入している。

Q 授業支援ソフトをスカイメニューからウインバードに変更した理由は何か。

A 故障時の応急対応機能や、年度末に行う児童情報の進級処理のアフターサービスがあり、教職員の事務の軽減が図られることも考慮して選定した。

Q 本年度の選定方針はどうか。

A ウインバードとスカイメニューの二つのソフトを指定したいと考えている。

### ▼小・中学校の校区割りについて

Q 校区割りを変更する権限はどこにあるのか。

A 市教育委員会にある。

Q 住民の意向を調査し、校区の再編を研究してはどうか。

A 地域コミュニティーにも影響するため、地域を含めて多くの方々から意見を聞き、場合によっては、諮問機関等も設置して対応する必要があると考える。

### 【その他の質問項目】

◇PM2.5について